

事業番号	11 04 01	事業改善シート（28年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	有料道路の利用者負担軽減事業費			担当課	部局	建設部	
総合5か年計画	プロジェクト			課・局・室	道路建設課		
	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり 2 暮らしを支える道路網の整備		E-mail	michiken@pref.nagano.lg.jp		
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針			実施期間	H26 ~		
	施策展開						

1 事業の概要

目指す姿	日常的に有料道路を通行している利用者の経済的負担を軽減する。		
現状（予算編成時）	三才山トンネル有料道路、新和田トンネル有料道路、平井寺トンネル有料道路、白馬長野有料道路の4区間において、通勤・通学・通院等日常的に有料道路を通行する利用者の経済的負担が大きい。		
県が関与する理由	県でなければ実施不可（その他）	【左記の説明、根拠法令等】 長野県道路公社の管理する有料道路であり、県は施策内容に深く関与している。	
	県民との協働による実施：実施は困難		

成果目標・事業内容	① 成果目標 (H28)			
	通勤時間帯割引を実施し、通勤・通学・通院で日常的に有料道路を通行している利用者の料金負担を軽減する。（対象車両：普通自動車・軽自動車） 平成28年度も引き続き、未実施市町村に参加を求め、より多くの県民の活用につなげていく。			
	② 事業内容 (単位：千円)			
	項目	実施方法	H28事業実績	H28 (当初) (決算) H29 (当初)
上記4区間での通行料金負担軽減	負担金	市町村と県で料金軽減分を負担し、普通車・軽自動車について通常料金から5割引となる通勤時間帯割引を実施した。	74,484 60,431 74,621	
			合計 74,484 60,431 74,621	

事業コスト	区分(単位：千円)	27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	前年度繰越	0	0	0	項目	H26末	H27末	H28		H29 目標	
	当初予算	76,325	74,484	74,621				目標	成果		達成状況
	補正予算				事業の利用台数 (販売枚数)	-	52万台	99万台	74万台	未達成	78万台
	合計(A)	76,325	74,484	74,621	実施市町村	13市町村	14市町村	17市町村	17市町村	達成	18市町村
	一般財源	76,325	74,484	74,621							
	県債										
	国庫支出金										
	その他	0	0	0							
	決算額(B)	36,346	60,431								
概算人件費	職員数(人)	1.13	1.13	1.13							
概算人件費(C)	9,352	8,943	8,943								
概算事業費(B(A)+C)	45,698	69,374	83,564								

目標に対する状況	事業実施市町村数は目標を達成できた。 利用者数は、対象時間帯の拡大と実施市町村の新規参画により増加は見られたものの、拡大後の対象時間帯における利用台数が見込みを下回ったほか、消費税増税による駆け込み需要見込み分の減により、目標には達しなかった。
----------	---

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようになりたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	日常的に有料道路を通行している利用者の経済的負担を軽減するため、引き続き事業を実施する。 また、より多くの県民の利用につなげるため、未実施市町村の参画を求めていく。